

第三期帯広市環境基本計画（原案策定検討資料） 環境指標項目について

資料3

基本目標	環境指標項目	現状値	指標 (令和11年度)	指標設定の考え方
基本目標1 地球環境の保全 【地球環境にやさしいまち】	1人あたりの温室効果ガス排出量	8.68 t-CO <sub>2</sub> (平成29年度)	6.29 t-CO <sub>2</sub>	2017(平成29)年度における1人あたりの温室効果ガス排出量は8.68 t-CO <sub>2</sub> となっており、地球温暖化の防止には、この温室効果ガス排出量を削減することが重要となる。このことから、温室効果ガス排出量の削減に取り組み、2029(令和11)年度の1人あたりの温室効果ガス排出量を6.29 t-CO <sub>2</sub> に減少させることを指標とする。
	再生可能エネルギー等の導入によるCO <sub>2</sub> 排出削減量	57,640 t-CO <sub>2</sub> (平成30年度)	130,424 t-CO <sub>2</sub>	地球温暖化の防止には、太陽光発電などの再生可能エネルギー等の導入によるCO <sub>2</sub> 排出量の削減が重要となる。このため、2018(平成30)年度における再生可能エネルギー等の導入によるCO <sub>2</sub> 排出削減量である57,640 t-CO <sub>2</sub> を再生可能エネルギー等の導入により2029(令和11)年度までに130,424 t-CO <sub>2</sub> に増加させることを指標とする。
基本目標2 自然共生社会の形成 【自然とともに生きるまち】	市内の森林面積	25,655ha (平成30年度)	25,655ha	森林は、多くの動植物の生息・生育場所となっており、また、私たちの暮らしに必要な食料や水の供給、気候の安定などの基礎となるものである。今後も森林面積の減少を抑え、こうした恵みを受用していくため、2018(平成30)年度の市内森林面積25,655haを2029(令和11)年度まで維持することを指標とする。
	環境配慮型農業の取組面積	調整中		
基本目標3 生活環境の保全 【健康でうるおいと安らぎを感じるまち】	河川水質の環境基準達成率 (BOD75%値)	100% (平成30年度)	100%	市民が健康でうるおいと安らぎを感じながら生活するためには、きれいな水などの良好な環境と、水辺の空間づくりが重要となってくるため、2018(平成30)年度達成率が100%である河川水質の環境基準達成率(BOD75%値)を、2029(令和11)年度まで維持することを指標とする。
	帯広の森の育成に関わる活動者数	3,039人 (平成30年度)	3,120人	帯広市における代表的な市民協働の取り組みである「帯広の森づくり」に関わる活動者数は2018(平成30)年度で3,039人となっている。人口減少により、帯広の森育成に関わる活動者数の減少が懸念されるものの、はぐくむや活動団体と連携しながら帯広の森に関する普及啓発に取り組むことで活動者数の増加を図り、2029(令和11)年度に3,120人に増加させることを指標とする。
基本目標4 循環型社会の形成 【ごみを出さないまち】	1人1日あたりのごみ排出量	935g (平成30年度)	800g	2018(平成30)年度における帯広市1人1日あたりのごみ排出量は935gとなっている。ごみ排出量の減少は環境負荷の低減につながるため、生ごみ排出量の減少等に取り組み、2029(令和11)年度の排出量を800gに減少させることを指標とする。
	リサイクル率	24.7% (平成30年度)	30%	循環型社会の形成には、廃棄物の再利用が必要となる。ごみとして廃棄していたものを資源として活用し、新たな製品等として活用するためには、リサイクル率の向上が必要である。2018(平成30)年度における帯広市のリサイクル率は24.7%となっており、今後も様々な施策を行う中で、2029(令和11)年度のリサイクル率を30%に増加させることを指標とする。
基本目標5 市民参加と広域連携 【環境にやさしい行動を実践するまち】	清掃ボランティア (エコフレンズ)登録者数(累計)	3,940人 (平成30年度)	4,380人	「どこよりも美しいまち」を目指すためには、市だけではなく市民、事業者との協働が不可欠となる。「自分たちのまちは、自分たちの手で美しく」という共通認識のもと、地域住民や地元企業の力を原動力とし、行政がサポートする「まち美化サポート事業」を推進している。2018(平成30)年度において3,940人が登録しているが、今後は40人/年の増加を目指し、2029(令和11)年度には4,380人に増加させることを指標とする。
	出前環境教室参加人数(累計)	24,742人 (平成30年度)	42,342人	環境問題については、市民が関心を持ち、自ら実践できる対策を学ぶことが重要となる。環境問題に対して、実践できる具体的な行動を知るきっかけとなるよう、帯広市では出前環境教室を実施している。多くの帯広市民の環境意識醸成が、現在・未来の帯広市における環境保全につながると考える。2018(平成30)年度までに、累計参加人数は24,742人となっている。過去10年の平均参加人数は1,556人/年であるが、1,600人/年の増加を目指し、2029(令和11)年度には42,342人に増加させることを指標とする。